



## 2021年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月13日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所  
 コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 瀧川 順

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 2020年10月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	5,081	16.7	181		189		135	
2020年2月期第2四半期	6,101	10.5	324	16.0	284	22.7	206	18.4

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 138百万円 ( %) 2020年2月期第2四半期 191百万円 ( 12.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	64.46	
2020年2月期第2四半期	98.31	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	16,228	3,735	23.0	1,782.20
2020年2月期	15,524	3,925	25.3	1,873.06

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 3,735百万円 2020年2月期 3,925百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		25.00	25.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,803	19.7	484		353		252		120.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	2,099,376 株	2020年2月期	2,099,376 株
期末自己株式数	2021年2月期2Q	3,520 株	2020年2月期	3,520 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	2,095,856 株	2020年2月期2Q	2,095,856 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)における当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な拡大に伴い、グローバルな経済活動に大きな影響を受ける結果となりました。

化粧品業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けております。2月以降、商業施設の営業時間短縮・臨時休業や、消費者の外出自粛ならびにマスク着用の常態化により個人消費が減退、さらに、わが国への入国制限強化による訪日外国人旅行者の急減に伴うインバウンド需要の激減により、化粧品需要は大きく減少いたしました。

当社グループにおきましては、国内では2020年4月に政府の緊急事態宣言発出を受け、国内生産拠点ならびに本社において自宅待機・休業ならびに在宅勤務などの対策を余儀なくされ、また、フランス拠点におきましても政府による都市封鎖(ロックダウン)などの影響で工場操業度が一時著しく低下するなど、グループ全体に多大な影響が及びました。

このような事業環境の中、当社グループでは、2017年度からスタートした「中期事業戦略ビジョン(2017-2021)」のもと、「生産能力の増強」ならびにグループシナジーの創出を通じた「グローバル化の加速化」の実現に取り組んでまいりましたが、国内拠点においては生産能力拡大直後に見舞われた新型コロナウイルス感染症拡大による受注の減少に伴い操業度が低迷する中、各種コスト圧縮に注力してまいりました。フランスにおいても新型コロナウイルス感染症の再拡大による経済活動の低迷に見舞われるなど、依然厳しい環境の中での事業活動を余儀なくされております。このような厳しい経営環境ではありますが、今後は、ニューノーマルの時代に即した処方・生産技術の開発ならびに品質や安全性の向上に向け、更なる努力を重ねてまいり所存です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は、①緊急事態宣言や外出自粛、訪日外国人旅行者の急減によるインバウンド需要の減少等による国内需要減ならびに世界的な新型コロナウイルス感染症拡大によるアウトバウンド需要減を背景とした国内化粧品メーカーからの受注の減少、②世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による海外大手化粧品メーカーからの受注の減少の影響が大きく、フランスの連結子会社は増収となったものの、前年同期比16.7%減の5,081百万円となりました。

利益面では、売上高の急減に加えて「つくば工場第3期拡張工事」竣工に伴う諸費用の増加等もあって、営業損失181百万円、経常損失189百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失135百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

上記のとおり新型コロナウイルス感染症の拡大によって国内外の化粧品需要が急速に減退した結果、国内・海外化粧品メーカー各社からの当社へのアウトソーシング受注が減少したことから、売上高は前年同期比24.8%減の3,737百万円となりました。利益面では、売上高の急減に加えて「つくば工場第3期拡張工事」竣工に伴う諸費用の増加等もあって、営業損失330百万円となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.(以下「テプニエ社」という)の所在する欧州は、当第2四半期連結累計期間(1～6月)において、新型コロナウイルス感染拡大の影響で景気が低迷するなかで、テプニエ社も3月23日より化粧品製造ラインの一時操業休止を余儀なくされましたが(4月16日に操業再開)、それまでの好調な受注と生産を反映し、売上高は前年同期比16.3%増の1,377百万円、営業利益も前年同期比115.6%増の145百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、704百万円増加し、16,228百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が206百万円減少し、固定資産が910百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な減少要因は、現金及び預金が230百万円、電子記録債権が38百万円、たな卸資産が36百万円増加し、受取手形及び売掛金が324百万円、その他が189百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、建物及び構築物が293百万円、機械装置及び運搬具が33百万円、土地が586百万円、投資その他の資産のその他が66百万円増加し、建設仮勘定が171百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、894百万円増加し、12,493百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が391百万円減少し、固定負債が1,286百万円増加したことによるものであります。流動負債の主な減少要因は、短期借入金が130百万円、賞与引当金が83百万円増加し、支払手形及び買掛金が277百万円、電子記録債務が228百万円、その他が140百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金が1,331百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、190百万円減少し、3,735百万円となりました。主な減少要因は、株主資本が親会社株主に帰属する四半期純損失135百万円等により187百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、193百万円増加し、948百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、19百万円（前年同期は259百万円の増加）となりました。これは主に、減価償却費389百万円、売上債権の減少額279百万円、未払消費税等の増加額215百万円等による増加と、税金等調整前四半期純損失189百万円、仕入債務の減少額508百万円、未払金の減少額250百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、1,152百万円（前年同期は1,478百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,031百万円、無形固定資産の取得による支出41百万円、長期貸付けによる支出79百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、1,366百万円（前年同期は1,179百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額35百万円、長期借入れによる収入1,980百万円と長期借入金の返済による支出544百万円、リース債務の返済による支出52百万円、配当金の支払額52百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年10月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	835,346	1,066,312
受取手形及び売掛金	2,226,476	1,902,467
電子記録債権	184,547	223,243
たな卸資産	2,099,546	2,136,303
その他	385,190	196,140
流動資産合計	5,731,107	5,524,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,110,690	5,404,248
機械装置及び運搬具(純額)	1,458,167	1,492,164
土地	1,301,018	1,887,585
建設仮勘定	345,820	174,018
その他(純額)	320,663	347,335
有形固定資産合計	8,536,360	9,305,353
無形固定資産	369,111	364,659
投資その他の資産		
投資有価証券	442,277	463,167
その他	526,596	593,557
貸倒引当金	△81,065	△22,703
投資その他の資産合計	887,809	1,034,020
固定資産合計	9,793,280	10,704,033
資産合計	15,524,388	16,228,502
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	695,734	418,340
電子記録債務	897,714	668,789
短期借入金	1,451,650	1,582,305
未払法人税等	—	40,333
賞与引当金	78,608	162,422
その他	1,239,904	1,099,455
流動負債合計	4,363,612	3,971,647
固定負債		
長期借入金	6,450,007	7,781,194
役員退職慰労引当金	146,430	146,430
退職給付に係る負債	64,242	64,921
その他	574,439	529,082
固定負債合計	7,235,119	8,521,629
負債合計	11,598,732	12,493,276
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	714,104	714,104
資本剰余金	943,209	943,209
利益剰余金	2,121,719	1,934,218
自己株式	△3,857	△3,857
株主資本合計	3,775,176	3,587,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,604	236,226
為替換算調整勘定	△72,125	△88,675
その他の包括利益累計額合計	150,479	147,550
純資産合計	3,925,655	3,735,225
負債純資産合計	15,524,388	16,228,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	6,101,756	5,081,597
売上原価	5,092,908	4,638,785
売上総利益	1,008,847	442,811
販売費及び一般管理費	684,274	623,959
営業利益又は営業損失(△)	324,573	△181,148
営業外収益		
受取利息	329	900
受取配当金	3,772	3,845
為替差益	—	9,935
補助金収入	—	8,650
雑収入	6,773	14,134
営業外収益合計	10,875	37,466
営業外費用		
支払利息	31,151	45,496
為替差損	18,561	—
その他	741	95
営業外費用合計	50,454	45,591
経常利益又は経常損失(△)	284,994	△189,273
特別損失		
固定資産除却損	1,522	20
特別損失合計	1,522	20
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	283,472	△189,294
法人税、住民税及び事業税	63,072	45,017
法人税等調整額	14,362	△99,207
法人税等合計	77,435	△54,189
四半期純利益又は四半期純損失(△)	206,036	△135,104
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	206,036	△135,104

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	206,036	△135,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,034	13,621
為替換算調整勘定	△26,574	△16,550
その他の包括利益合計	△14,540	△2,928
四半期包括利益	191,496	△138,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,496	△138,033
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	283,472	△189,294
減価償却費	260,505	389,795
賞与引当金の増減額(△は減少)	142,656	83,813
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,000	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,171	1,422
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,948	△56,509
受取利息及び受取配当金	△4,102	△4,746
支払利息	31,151	45,496
固定資産除却損	1,522	20
売上債権の増減額(△は増加)	△7,681	279,384
たな卸資産の増減額(△は増加)	△168,146	△43,567
仕入債務の増減額(△は減少)	162,824	△508,507
未払金の増減額(△は減少)	△300,110	△250,930
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,539	215,334
その他	42,438	31,935
小計	399,948	△6,352
利息及び配当金の受取額	3,837	4,230
利息の支払額	△32,017	△44,605
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△112,166	27,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	259,601	△19,388
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,000	△40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△1,371,699	△1,031,486
無形固定資産の取得による支出	△71,650	△41,191
投資有価証券の取得による支出	△1,259	△1,261
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	△1,662
長期貸付けによる支出	△33,637	△79,677
長期貸付金の回収による収入	—	3,268
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,478,246	△1,152,010
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	174,868	35,760
長期借入れによる収入	1,745,951	1,980,000
長期借入金の返済による支出	△508,747	△544,456
自己株式の取得による支出	△2	—
リース債務の返済による支出	△49,455	△52,179
配当金の支払額	△52,092	△52,438
その他	△130,561	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,179,960	1,366,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,702	△1,641
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△43,387	193,647
現金及び現金同等物の期首残高	667,497	754,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	624,109	948,192

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,937,557	1,164,199	6,101,756	—	6,101,756
セグメント間の内部売上高又は 振替高	33,259	20,282	53,541	△53,541	—
計	4,970,816	1,184,481	6,155,298	△53,541	6,101,756
セグメント利益	250,482	67,289	317,771	6,801	324,573

(注) 1. セグメント利益の調整額6,801千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,704,341	1,377,255	5,081,597	—	5,081,597
セグメント間の内部売上高又は 振替高	33,516	—	33,516	△33,516	—
計	3,737,857	1,377,255	5,115,113	△33,516	5,081,597
セグメント利益又は損失(△)	△330,596	145,059	△185,536	4,388	△181,148

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額4,388千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。